



りくぜんたかた

市議会だより

令和7年
第3回定例会

● 気仙小学校稲刈り体験

岩手県陸前高田市議会

● 編集／議会だより編集小委員会

No. 134

発行日

令和7年11月5日

議員提案による



こども基本条例を可決

本条例は、子育てや教育等、こどもに関する取り組みの方向性を示す理念条例です。地域全体で子育てを応援するまちとするため、教育民生常任委員会より「陸前高田市こども基本条例」が発議され、全会一致で可決されました。

市・保護者・学校等関係者・地域住民・事業者・議会の役割を明らかにし、こどもが安心して健やかに成長できる社会の実現を目指す内容です。



条例の詳細はこちら

この条例では

こどもの成長を社会全体で支える環境を整えることで、こどもが希望を持ち、安心して健やかに成長できる社会の実現を目指します。



大切にする3つの考え方

01 Point!!

すべてのこどもの権利を大切に、安全で健康に暮らせる環境を地域全体でつくります。

02 Point!!

地域行事やおまつり、伝統芸能など、こどもがいろいろな経験や学びを得られる環境をつくります。

03 Point!!

こどもの得意なことや興味関心にあわせて可能性を最大限広げられるよう支援をします。

これらの考え方を踏まえて



市議会では、条例制定にあたり、市内小中学生へのアンケートや、保護者のみなさんや各関係団体、市民との対話を重ね、こどもに何が必要かを考えました。それぞれが“役割”を持ち連携して取り組みを進めていきます。

例えば…

市の役割

- こどものための取り組みを広く周知します。
- 事故や災害からこどもを守るため必要な取り組みを進めます。

議会の役割

- こどもに対する取り組みについて調査します。
- 必要に応じて国や県に働きかけをおこないます。

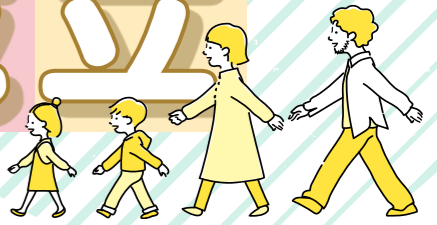
地域の役割

- こどもが安心して生活し、挑戦し、学ぶことができる環境づくりに協力をお願いします。

事業者の役割

- 従業員が仕事と子育てを両立できるよう配慮をお願いします。
- 職場体験の受け入れなど、教育活動への協力をお願いします。

基本条例成立



令和7年第3回定例会は、9月4日から同30日まで行いました。議員発議により、「陸前高田市こども基本条例」を全会一致で可決成立しました。

また、同じく議員発議により、「気仙地区の高等学校教育体制維持を求める意見書」を県関係機関へ提出することは、賛成多数で可決し、県教育委員会などに提出しました。

このほか、国道343号新笹ノ田トンネルの早期事業化を求める意見書を国の関係機関へ提出しました。

一般質問には9人の議員が登壇し、高校再編問題、市長公約や物価高騰対策などの市政全般にわたる論戦を展開しました。

市当局から提出された報告2件、執行前提案5件、条例案6件、補正予算案2件、決算案6件を全会一致で可決・認定しました。

令和6年度決算を認定

令和6年度の本市一般会計は、歳入が前年度比94・7%の174億3215万円、歳出は前年度比95・7%の169億7938万円です。

高校再編案反対の意見書提出

県教育委員会が8月5日に公表した「第3期県立高等学校再編計画(当初案)」を受け、鵜浦昌也議員他2人が「気仙地区の高等学校教育体制維持を求める意見書の提出について」を発議しました。

意見書は、同計画で示された高田高校海洋システム科および大船渡東高校食物文化科の募集停止・集約化について、地域の基幹産業である漁業・水産業や飲食業の専門人材確保に深刻な影響を及ぼすおそれがあり、受け入れられないため、同計画の早期決定に反対するものです。

本案は9月30日の本会議で採決され、賛成12、反対3の賛成多数で可決されました。意見書の提出先は、岩手県知事、岩手県教育委員会です。



高田高校海洋システム科の教習艇「北斗」「蒼天」

新トンネル請願を採択

本定例会では請願3件を審査・審議を行いました。

結果は、「国道343号新笹ノ田トンネルの早期事業化を求めることについて」は、全会一致で採択しました(8・17ページ参照)。

また、「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求めることについて、及び「訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求めることについて」は不採択となりました(8・16ページ参照)。



意見書をご覧ください

教育長・委員の任命に同意

任期満了にともない、教育長と教育委員の任命に同意しました。

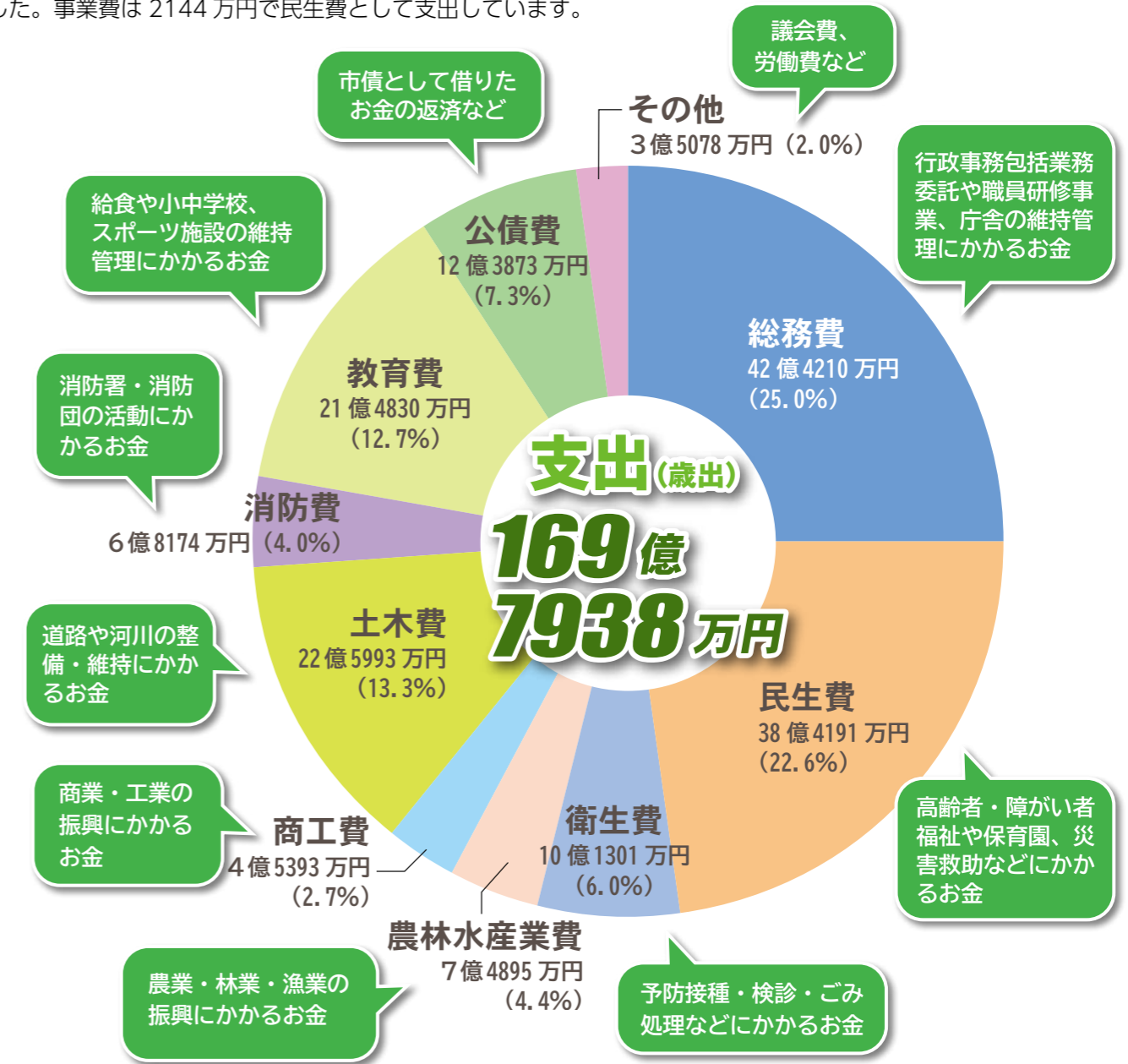
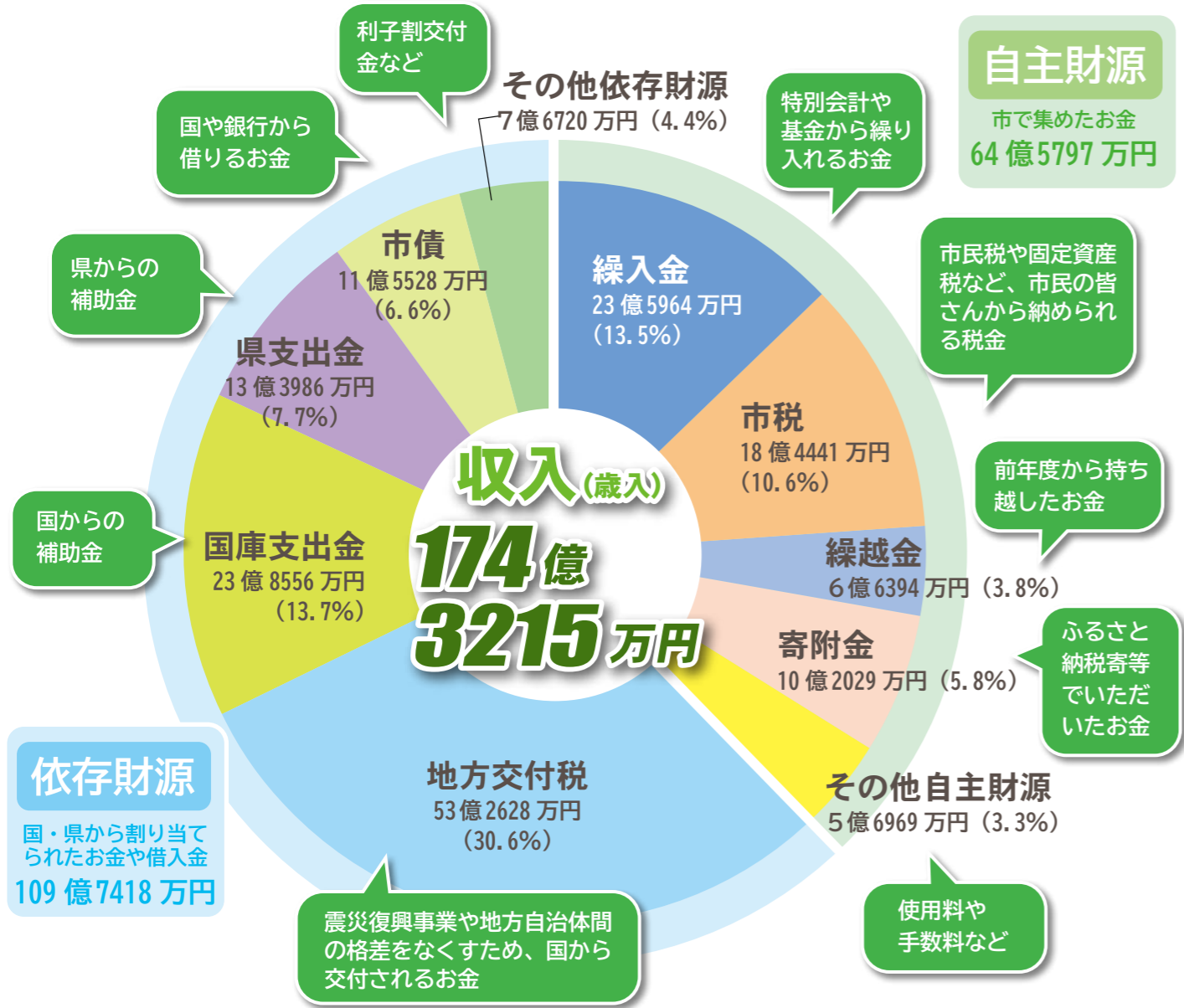
再教育長 山田市雄氏
再教育委員 安田留美氏

二又地区3施設を集約へ向け整備

一般会計歳出
169億7938万円

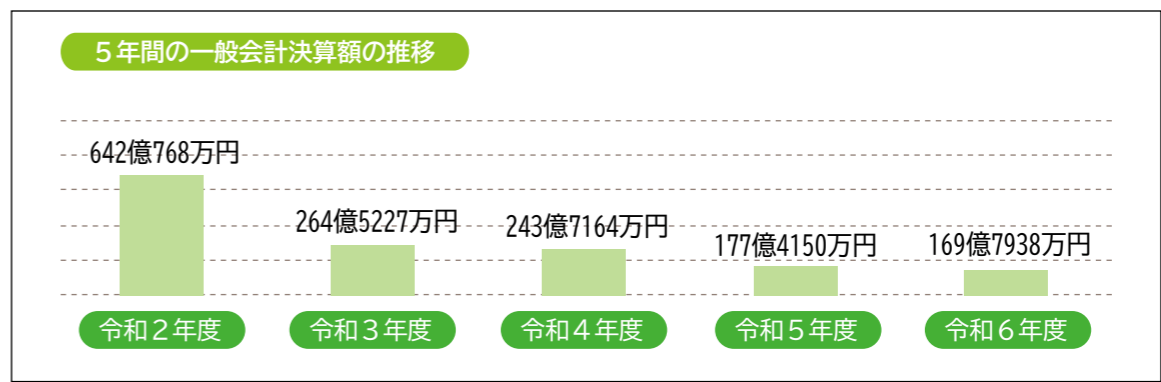
令和6年度の一般会計決算は、歳入額が174億3215万円、歳出額が169億7938万円。歳出額は、令和5年度と比較し、7億6213万円、4.3%の減となり、歳入から歳出を差し引いた残額は4億5277万円でした。

令和6年度は、矢作町二又地区のコミセン・診療所・消防屯所の施設集約のため、旧矢作小学校校舎の解体事業などを実施しています。工事費は2億4351万円で総務費として支出しています。また、大船渡市で発生した大規模林野火災に際し、支援物資の購入や避難者を受け入れた宿泊施設に補助金を交付するなどの支援を行いました。事業費は2144万円で民生費として支出しています。



一般・特別会計	会計区分	一般会計	特別会計		
			国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険
	歳入	174億3215万円	22億657万円	2億8371万円	26億978万円
	歳出	169億7938万円	21億8497万円	2億8371万円	24億3982万円
	翌年度へ繰り越すべき財源	1億483万円	0円	0円	0円
	実質収支額	3億4795万円	2160万円	0円	1億6995万円

企業会計		水道会計		下水道会計	
		収益的収支	資本的収支	収益的収支	資本的収支
	収入	5億9054万円	3億44万円	10億5765万円	7726万円
	支出	5億3646万円	4億9592万円	7億1681万円	4億4091万円



決算審査 質疑

ここが聞きたい

決算等特別委員会

令和6年度の一般会計及び各種特別会計の決算案は、本
定例会会期中の決算等特別委員会（大坂俊委員長）で4日
間の審査をしました。

その中から質疑の一部を紹介します。



大坂 俊 委員長

市営住宅使用料 家賃未納への対策は？

問 市営住宅家賃の未納が増えているが対策は。

答 年一回の収入申告や減免申請をしないことで家賃が高額となり、払えなくなることもある。状況に合わせた納付指導に努める。

災害援護資金貸付金 債権回収の取り組みは？

問 災害援護資金8200万円が未納だが対応は。

答 これは震災後、金融機関から借入できない人への貸付金なので、回収が難しいことは当初から想定されていた。引き続き国に対して償還期間の延長と償還免除要件の緩和を要望していくとともに、公平性の観点からも返済を求めていく。



ふるさと納税一番人気のカキ

ふるさと納税寄附金 なぜ減少か？

問 ふるさと納税減少の要因は。

答 一番人気のカキの収量が減ったことが大きい。一次産品は天候などの影響を受けやすいので、その確保に向けて担当課とも連携し取り組む。コメや缶詰など新しい返礼品もPRしていく。

結婚新生活支援補助金 交付実績は？

問 結婚29組に対し3件の交付実績は少ないのでは。

答 今後もPRを強化し、丁寧な相談に努める。夫婦の所得合算で500万円未満という条件についても検討する。

たかたのゆめ推進事業費 栽培面積等の減少要因は？

問 たかたのゆめ作付け農家や栽培面積が減少傾向だが要因は。

答 ひとめぼれより概算金が安かったことが一因。JAへの働きかけを行ってきたことで、来年度から両銘柄が同額となった。今後とも機会を捉えてPRし栽培を推奨していく。

ピーカン栽培管理委託料 苗木育成の状況は？

問 苗木育成に関する成果は。

答 種子からの苗木と接ぎ木苗木育成に取り組んでいるが、これまでに成功したのは1本だけと難しい状況。どこに問題があるか、協定先の東京大学などと連携し精査していく。



育成中のピーカンナッツ苗木



入居の問合せが続くチャレンジショップ（高田町）

商店街活性化支援事業費 チャレンジショップの状況は？

問 入居の問合せ状況は。

答 契約期限により店舗2区画分と飲食1区画分が空く予定で、既にその後の入居について問い合わせがある。現在入居している事務所は1年ごとの契約更新だが、別の場所での営業も考えられるので指定管理者や事業者と相談していく。

地域力創造専門家派遣業務 道の駅の魅力化は？

問 道の駅専門家派遣の成果は。

答 季節ごとのマルシェ開催や客の動線を考えた商品棚の配置などを行った。今後は道の駅の魅力向上、売



魅力化の進む道の駅高田松原

教育情報ネットワーク推進 校務DXの状況は？

上増加のため改善事業計画を策定予定である。

問 デジタル技術を活用して学校業務の効率化や変革を目指す校務DXの状況は。

答 教員のデジタル技術に対する得手不得手により学校間格差がある。学校のニーズを聞き、ICT支援員を増やすことについても検討中である。



令和7年第3回定例会提出議案

(報告2件、人事2件、条例6件、補正予算2件、決算6件、その他3件)

報告1 令和6年度陸前高田市健全化判断比率の報告について

市の財政状況を示す数値のひとつである実質公債費比率は11.6%であり、他の指標についても健全という報告。

報告2 令和6年度陸前高田市資金不足比率の報告について
水道事業会計、下水道事業会計の資金に不足はないという報告。

議案1 教育長の任命について

議案2 教育委員会の委員の任命について

議案3 辺地総合整備計画の策定について

矢作町二又のコミセン・診療所・消防屯所の整備に向け、財源を含めた計画を定めるもの。

議案4 反訴の提起について

議案5 陸前高田市議会議員及び陸前高田市長の選挙における選挙運動用自動車の使用並びにビラ及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例

議案6 陸前高田市印鑑条例及び陸前高田市手数料条例の一部を改正する条例

議案7 陸前高田市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

議案8 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

議案9 大肝入吉田家住宅復元基金条例の一部を改正する条例

旧吉田家住宅主屋が完成したことから、基金条例の目的を復元から維持管理へ変更するなどの改正。

議案10 陸前高田市市営住宅条例の一部を改正する条例

議案11 令和7年度陸前高田市一般会計補正予算(第3号)

議案12 令和7年度陸前高田市介護保険特別会計補正予算(第2号)

議案13 令和6年度陸前高田市一般会計歳入歳出決算

議案14 令和6年度陸前高田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

議案15 令和6年度陸前高田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

議案16 令和6年度陸前高田市介護保険特別会計歳入歳出決算

議案17 令和6年度陸前高田市水道事業会計決算

議案18 令和6年度陸前高田市下水道事業会計決算

議案19 小学校特別教室エアコン設置工事の請負契約締結について

市内小学校の特別教室にエアコンを設置するための契約。

続く物価高に対応

第3回定例会で補正予算を可決しました。令和7年度一般会計歳入歳出の総額にそれぞれ2億6229万円を追加し、177億1769万円としました。

歳出の主なものは、物価高騰対策緊急支援給付金事業費2300万円、学童クラブの補助金増などに1132万円です(右表参照)。

第3回定例会

令和7年度

一般会計補正予算(第3号)

2億6229万円を追加し

総額

177億1769万円

【一般会計の主な補正予算項目】

歳出(支出) (万円未満切り捨て)

項目	補正額	補正の理由
物価高騰対策緊急支援給付金事業費	2300万円増	調整給付金(不足額給付)の増加分
財政調整基金積立金	1億7397万円増	将来のための積み立て
放課後児童健全育成事業費	1132万円増	学童クラブへの補助金増額と竹駒学童クラブの温水器交換修理費
市道維持補修事業費	700万円増	市道管理予算の増額など

請願審査

請願第2号『『カリキュラム・オーバーロード』の改善を求めることについて』、請願第3号「訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求めることについて」は教育民生常任委員会(16ページ参照)に、請願第4号「国道343号新笹ノ田トンネルの早期事業化を求めることについて」は産業建設常任委員会(17ページ参照)にそれぞれ付託され、審査を経て9月30日の本会議に諮りました。

採決の結果、請願第2号と請願第3号は賛成少数で不採択。請願第4号は全会一致で採択されました。

議案に対する議員の賛否

【採決状況一覧】

※「○」は賛成、「×」は反対、「議」は議長のため採否に参加せず。

	佐々木良麻	菅野秀一郎	小林卓	木村聡	大和田加代子	中野貴徳	伊勢純	佐々木一義	大坂俊	菅野広紀	大坪涼子	福田利喜	藤倉泰治	伊藤明彦	鵜浦昌也	及川修一
議案第1~19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
請願第2号	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	議
請願第3号	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	○	×	議
請願第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
発議第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
発議第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
発議第7号	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議

受理番号	請願	請願の趣旨	結果
請願第2号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求めることについて	学校現場では不登校や教員不足が深刻化し、教材研究や児童生徒に接する時間も不足している。子どもたちの健やかな学びを守るため、学習内容の過密状態「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善が必要である。ついては、国に対し意見書を提出するよう請願する。	不採択
請願第3号	訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求めることについて	訪問介護報酬引き下げにより訪問介護事業所の経営が悪化している。職員の賃金低下や人手不足が深刻化しており、地域の高齢者福祉を支えるため、報酬の再引き上げと処遇改善を早急に行う必要がある。ついては、国に対し意見書を提出するよう請願する。	不採択
請願第4号	国道343号新笹ノ田トンネルの早期事業化を求めることについて	国道343号は、県内陸部と沿岸部を結ぶ重要な物流・観光路線であるが、陸前高田市と一関市の境にある笹ノ田峠は交通の難所となっている。地域経済の活性化や地域間交流の促進のためにも、新トンネルの早期整備が必要である。ついては、国および県に対し意見書を提出するよう請願する。	採択

我が市政を問う！

一般質問

鵜浦昌也
(創生会)

高田松原を生かした観光振興策
県立高等学校の再編計画案
高齢者に優しいまちづくり

大和田加代子

産後ケアと0歳児の子育て支援
GIGAスクール構想
医大を目指す子どもを育てる取り組み

伊勢 純
(日本共産党)

物価高騰対策
第3期県立高等学校再編計画(当初案)への本市の対応
高温少雨対策と農業経営支援

福田 利喜
(創生会)

カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波の経験から得た本市の防災
本市の産業構造と今後の方向

藤倉 泰治
(日本共産党)

市長の政治姿勢
本市の産直事業の展開
矢作町生出地区などの道路整備、公共工事の推進

大坪 涼子
(日本共産党)

市内の訪問介護事業所に対する支援
認知症および在宅家族への支援
令和6年能登半島地震の被災地支援および東日本大震災15年関連事業

中野 貴徳

観光施策・スポーツによるまちづくり
各地区コミュニティと市道維持管理
日本遺産「みちのくGOLD浪漫」

佐々木良麻
(とほく未来創生)

第3期県立高等学校再編計画(当初案)
三陸花火大会2025のチケット返金トラブル

木村 聡
(とほく未来創生)

市長公約
こどもの体験格差、家庭の送迎負担

医師確保の取り組みは

県に進学課程設置を要望



こちらから視聴できます



おおいわ だかよこ
大和田加代子



常勤医の確保が望まれる高田病院

答

キャリア教育の中で医師の話聞く機会を設けるなど、その魅力を訴えていきたい。

産後ケア事業は

問

低体重児の母親の産後ケア期間は、現在の誕生日から修正月齢の1年後まで延長してはどうか。

答

現在の利用状況やリスクの状況等を考え、可能であれば検討していきたい。

在宅育児給付金は

問

保育所等を利用せず、在宅で育児を行う親等に対する給付金制度の導入はどうか。

答

保育所等を利用しない生後2カ月から3歳未満の第2子以降の子を養育する世帯に対する県補助制度の活用を検討している。

問

地域医療体制の充実のため、医師確保の取り組みと合わせ、医大を目指す子どもを育てることはどうか。

答

本市を含む気仙地域における医師不足への対応として、気仙地区の高校に「医学部進学課程」を設置することを県に要望している。



うの ぽろ まさ なり
鵜浦昌也
(創生会)

高田高再編への考えは

県教委は受け入れ難い



こちらから視聴できます



再編計画案が示された高田高校

問

県教委は先ごろ、県立高校の再編計画案を示した。令和10年度に高田高校の海洋システム科を募集停止し、宮古水産高校に集約する内容が盛り込まれたが、その所感はどうか。

答

東日本大震災の影響により、本市を含めた沿岸部は内陸部に比べて生徒の受け入れに大きな困難があった。一時的に内陸部への進学を余儀なくされたり、生活の拠点を移さざるを得ない家庭があった。志願者数の減少を根拠に再編計画を策定するのではなく、震災の状況にも配慮しながら策定する必要があると考えている。

密な松林の間伐は

問

林立した密集状態となっている高田松原の松林について、間伐の必要性があるのではないか。

答

令和7年度年度後半には間伐やクズ対策を行ってもらうことになっている。来年度以降も県の治山事業として、保育作業を行ってもらうよう要望していく。

福祉施設へ物価高対策は

効果的なものになるよう検討



こちらから視聴できます



い せ じゅん
伊勢 純
(日本共産党)

問

本市は、市内の福祉・医療の施設などへ新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対する支援に取り組んできたが、昨年度は支援金を支給しなかった。国の臨時交付金を活用し支援すべきでは。

答

本市の物価高騰対策が効果的なものになるように検討している。介護施設等への支援金もひとつの選択肢と考えている。

答

本市として受け入れ難い。

問

住田高校での学校給食提供や交通費半額補助、居心地のよい学校づくりなどを学ばべきでは。

答

慎重に検討していきたい。

農業の少雨対策は

問

来年度の農業用水の供給は。

答

今年は、気仙川用水の給水予定日以外も緊急的に給水を行った。併せて営農指導や県の農作物技術情報により、注意喚起を図った。来年度以降は国の渇水・高温対策の補助制度等も視野に対策を講じる。

問

収入減少への救済事業は。

答

収入保険加入の補助などを行っている。さらに農業改良普及センターなどに対応策を検討する。

高校再編へ対策は

問

県教委の高校再編計画案は、3年後から高田高校海洋システム科と大船渡東高校



福祉施設の活動(高田町)



和田 清喜
(創生会)

産業振興の課題は

担い手や労働者の不足解消



こちらから視聴できます

問 本市の基幹産業は一次産業であるとの認識は市長も共有されていると思うが、今後の方向に進もうとしたときに考えられる課題は何か。

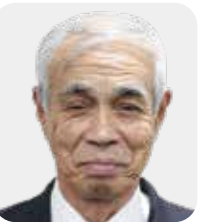
答 全ての産業における課題として、担い手や労働力の不足が挙げられる。漁業においては新たな機器導入等により生産性の向上が図られれば、さらなる人手不足であっても、経営を改善することが可能であると思われる。農業においては、生産効率の向上や、労働環境の改善が図られることが重要であると考えている。

問 交流人口・観光が地域を支える経済になると考えているか。

答 地域内の需要のみで経済を維持・拡大することは困難であることから、大学生や



産業振興のカギは省力化



倉田 泰治
(日本共産党)

市独自の物価高対策は

まずは国の責任で講じるべき



こちらから視聴できます

問 物価高騰対策は、国待ちではなく、市独自の判断はどうか。

答 まずは、国が責任をもつて対策を講じるべきだと思う。その代わりのことを市が行うと財政が破たんしてしまう。



好評だったプレミアム付商品券

問 市長は「財政破たん」「限られた財源」と言うが、今回の決算で財政指標は良くなっている。受け止めはどうか。

答 継続して安定した財政運営が図られている。

問 いずれ「国待ち」「財政がない」では済まない。市長自身の判断を示すべきでは。

答 議員の思いはしっかりと受け止めながら今後も努めていく。

市内産直への支援は

問 市内の産直や直売所の経営改善に向けた検討状況はどうか。

答 産直の場所の移転や再編、施設のリニューアル等について検討を行っている。今後、具体的な対応案を示していく。

生出の道路整備は

問 矢作町生出地区の県道整備について市の対応はどうか。

答 県は県道世田米矢作線の改良整備を新規事業化した。市として用地交渉などを支援していく。



大坪 涼子
(日本共産党)

介護事業所への支援は

助成金や基金活用を検討



こちらから視聴できます

問 訪問介護報酬引き下げで介護事業所への影響はどうか。

答 昨年度、国の介護報酬改定で約2〜3%の基準報酬が引き下げられた。市内6カ所の事業所へ影響もあるが危険な状況ではない。

問 訪問介護報酬引き下げに相当する減益分として、基金活用等による支援はどうか。

答 助成金の交付や介護給付費準備基金の活用を含め検討する。

認知症の対応拡充は

問 認知症患者とその家族に対する相談体制や生活支援などの拡充は。

答 地域包括支援センターでの窓口で保健師、認知症地域支援推進員等が家庭の様子や困りごとを聞き取り、医療や介護などのサポート体制の情報を案内している。



認知症支援に取り組む「チームオレンジたかた」

震災15年関連事業は

問 能登半島地震の被災地支援の取り組みはどうか。

答 市職員が珠洲市を訪問し助言を行い、本市が開発や企画に携わった電話を使用した安全確認システムが導入される。

問 来年の大震災津波15年の節目に防災を学ぶ市民的な企画は。

答 市のイベントだけでなく、県の津波伝承館等と連携し企画する。



中野 貴徳

スポーツのまちづくりは

推進計画を進め活性化を図る



こちらから視聴できます

問 開催時期が異なるイベントを相互に関連付けし、複数回の来訪を促す取り組みは。

答 スポーツイベントの参加や観戦を目的とした地域への訪問のほか、観光とスポーツを掛け合わせたスポーツツーリズムに取り組んでいる。

問 スポーツによるまちづくりの取り組みは。

答 第2期スポーツ推進計画の策定を進め、誰もがスポーツに親しめる環境整備や大会・合宿誘致などを推進し、生涯スポーツの振興に取り組む。

地域団体の担い手は

問 市内コミセンや自治会などの担い手不足の対策は。

答 多くの団体や組織で担い手不足が生じている。持続的運営のため、現行の体制で実施が難しい事業の見直し、活



力強く疾走する参加者（ツール・ド・三陸）

総務

2年間の所管事務調査を振り返る

所管事務調査

9/4

所管事務調査中間報告について

9/25

所管事務調査中間報告について

総務常任委員会は、この2年間の任期中、「持続可能な行財政運営とまちづくり」をテーマに掲げ、財政調整基金の活用方法を中心に調査を進めてきました。基金は将来世代への責任を果たすための重要な財源であり、適切な活用は持続可能な行財政運営に直結します。委員会では、市民や団体、関係課との意見交換を重ね、財政運営の現状と課題を多角的に把握しました。最終的に政策提言としてまとめるには至りませんでした。基金活用の在り方に明確な答えを見出すことの難しさを共有できたことは、今後の議論に向けた大きな成果といえます。

このほか、防災やDX推進、結婚支援、民泊体験、脱炭素先行地域など幅広い分野について調査を行い、現場の声を踏まえた議論を深めました。「議会と語る会」を4回開催するなど、委員会活動の透明性と開かれた議会運営の推進につなげることができました。

一方で、財政をテーマとした管外行政視察の受入先が見つからなかったことや、基金に関する説明が市民に伝わらなかったことなど、今後に向けた課題も明らかになりました。市民へのわかりやすい情報発信や、調査結果を政策提言へと確実に反映させる仕組みづくりが必要と考えます。

2年間の任期を振り返ると、コロナ禍後の社会変化の中で、市民との対話を重ねながら行政、地域の課題に真摯に向き合った期間でした。委員会活動を通じて



高田まちなか会との語る会

て得た知見と経験を次期委員会に引き継ぎました。

委員長 徳 聡
副委員長 貴 加代子
委員 野村 和子
中木 大 泰昌
大 藤 倉 浦
藤 鶴



佐々木 良 麻
(とうほく未来創生)

花火大会開催の条件は 運営体制や収支の透明化



こちらから視聴できます

問 中止となった三陸花火大会のチケット代金の返金が滞るトラブルが発生している。市ではどのように受け止めているか。

答 極めて重く受け止めている。市としては、実行委員会に対して代金の返金を1日も早く行うよう、繰り返し申し入れてきた。



三陸花火大会（2023年）

問 前回定例会では、実行委員会に対して共催協定書に基づき、収支状況の報告を求め、いくつの答弁があったが、

報告は受けたか。
答 報告書の提出はあったものの極めて簡単な報告であり、詳細な情報は得られなかった。

問 今後、花火大会を開催するための条件は。

答 本市において花火大会を開催する場合には、実施主体における運営体制の透明性と、収支を含めて健全かつ安定的な実施計画が求められるとともに、市内の公的な団体や事業者などの協力体制の構築が不可欠であると考えている。

地元高校への支援強化は

再編計画を踏まえ地元校への支援をどう進めるか。

答 高田高校の意向を踏まえることが重要だと考えており、財源を注視しつつ、適切に対応したい。



木村 聡
(とうほく未来創生)

市長選時の公約に掲げた大学誘致の進捗は。

答 ある大学が正規の科目として数ヶ月間の実地調査をする方向だ。

問 私立大学医学部の奨学金制度の導入は。

答 公約に掲げた時には認識していなかったが、すでに平成元年に制度が設けられていた。これまで貸付実績が3件のみ。今後は、この奨学金を周知し活用していきたい。



立教大学陸前高田サテライト開所記念シンポジウム

公約である大学誘致は 正規の授業として実施へ



こちらから視聴できます

農林水産業生産額倍増の進捗を数値で示すところか。

答 事業規模は今後明らかになる見込みだが、養殖を行う事業所が10月に免許を取得予定だ。

問 雇用千人創出の進捗を数値化できないか。

答 市民にとって達成度が判断しやすい形になるよう、遅くとも次の選挙までに数値化を検討したい。

保護者の送迎負担は

部活動の地域移行に伴う送迎負担について、市の認識は。

答 活動場所を生活圏内に設定したり、公共交通やスクールバスとの連動も有効と考えており、保護者や指導者の過度な負担とならないよう検討する。

教育民生

所管事務調査

陸前高田市子ども基本条例

7/1 ▶ 7/30 パブリックコメントの実施

8/20 陸前高田市子ども基本条例について
(パブコメで寄せられたご意見について)

9/4 所管事務調査中間報告について

請願審査

9/25 請願第2号
『『カリキュラム・オーバーロード』の改善を求めることについて』

9/26 請願第3号
「訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求めることについて」



子ども基本条例起草に向けた語る会

- | | | |
|------|-------|----|
| 委員長 | 佐々木 一 | 義子 |
| 副委員長 | 大坪 涼 | 麻紀 |
| | 佐々木 良 | 広喜 |
| | 菅野 田 | 利彦 |
| | 福伊 藤 | 明彦 |

子ども基本条例

教育民生常任委員会では、「陸前高田市子ども基本条例」の制定を目指し、これまで調査・検討を重ねてきました。

7月には委員会で起草した条例案について、パブリックコメントを実施しました。寄せられたご意見の中には、「子どもが地域に貢献しなければならぬといったプレッシャーを与えない表現とすべき」、「子どもの発達特性による環境との不調和を保護者だけの責任としない記述とすべき」といった趣旨のものがありました。

これらの意見を踏まえ、修正を行い、修正後の条例案は、9月30日の本会議で発議し、全会一致で可決されました。今

後は、本条例の基本理念のもと、地域全体で子育てと子どもの成長を支えるまちづくりの推進が期待されます。また、議会としても、条例に基づき、積極的な政策提言や要望活動に取り組んでいくことを中間報告としてまとめました。

請願審査

教育民生常任委員会に付託された請願について、9月25日に請願第2号「『カリキュラム・オーバーロード』の改善を求めることについて」を、9月26日に請願第3号「訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求めることについて」をそれぞれ審査しました。

請願第2号の審査では、「指導内容を精選することにより必要な時間を確立す

べき」との意見や、「不登校がカリキュラム・オーバーロードだけの理由とすること疑問が残る」等の意見が出されました。採決の結果、賛成少数のため不採択と決しました。

請願第3号の審査では、「介護事業所の経営環境及び職員の処遇の改善の実現は賛成すべき」との意見や、「引き下げの撤回に関しては、地域の事情を考えると厳しいものがあり妥当とも考えるが、引き上げについては、財源を含めて検討する必要がある」との意見が出されました。採決の結果、賛成少数のため不採択と決しました。



パブリックコメント実施結果をご覧ください

産業建設

所管事務調査

9/4 所管事務調査中間報告について

請願審査

9/25 請願第4号
「国道343号新笹ノ田トンネルの早期事業化を求めることについて」

請願審査

産業建設常任委員会は、9月25日に市役所で請願審査を行いました。

請願第4号「国道343号新笹ノ田トンネルの早期事業化を求めることについて」は、県内陸部と沿岸部を結び、物流や観光に資するほか、冬期間の交通難所を解消するため、また、平成26年には9万人を超える署名が集まったことなどから、早期事業化を進める意見書を関係機関への提出を求めるものでした。

審査では、請願者からの趣旨説明、紹介議員からの補足説明の後、市担当課への質疑を行いました。

委員からは、事業化までの経緯やトンネル開通後の展望、現在使用しているループ橋の耐用年数などの説明を求めま

した。

その後の意見交換では、新笹ノ田トンネルの早期事業化は住民からの強い要望であり、観光・商業面だけで無く災害対応という面においても必要性の高い整備であるとし、全委員の賛成により採択すべきものと決しました。

所管事務調査中間報告

委員の任期である、この2年間は、産業振興をテーマに掲げ、行政視察、及び漁業者や商工団体などへの所管事務調査を行ってきました。

その結果、「一次産業省力化機械導入補助制度の創設について」を市長へ政策提言し、同補助制度を実現しました。

さらに、本委員会からの発議で「陸前高田市中小企業・小規模企業振興条例」



意見書をご覧ください

- | | |
|------|-----|
| 委員長 | 俊純 |
| 副委員長 | 秀一郎 |
| | 卓一 |
| | 修一 |
| | 坂勢 |
| | 野林 |
| | 川川 |
| | 大伊 |
| | 菅小 |
| | 及 |



新笹ノ田トンネルの早期事業化が待たれる国道343号線(矢作町)

新たな
視点

委員会構成が変わりました

議員任期後半も積極的に 政策提言を行います



委員長 佐々木 良 麻

委員 小 林 卓

副委員長 大 坪 涼 子

福 田 利 喜
及 川 修 一

教育民生常任委員会

教育民生常任委員会は、保健課、福祉課、こころの復興支援室、子ども未来課、市民課、教育総務課及び学校教育課の所管に属する事項を担当します。
前期は、陸前高田市子ども基本条例を制定しました。



委員長 福 田 利 喜

委員 佐々木 良 麻

副委員長 木 村 聡

菅 野 秀一郎
大 坪 涼 子
藤 倉 泰 治

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会運営全般について協議をする委員会です。代表的なものは定例会や臨時会の日程を決めることや、議長から議会運営などに関して諮問されたことを担当します。委員は各会派から選出されます。



委員長 菅 野 秀一郎

委員 木 村 聡

副委員長 伊 勢 純

大和田 加代子
中 野 貴 徳
大 坂 俊

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会は、商工観光課、農林課、水産課、建設課、住宅政策室、土地活用推進課、上下水道課及び農業委員会の所管に属する事項を担当します。
前期は、陸前高田市中小企業・小規模企業振興条例を制定しました。



委員長 藤 倉 泰 治

委員 菅 野 広 紀

副委員長 佐々木 一 義

伊 藤 明 彦
鶴 浦 昌 也

総務常任委員会

総務常任委員会は、企画政策課、脱炭素推進室、総務課、財政課、まちづくり推進課、税務課、交流推進課、会計課、防災課、消防本部、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項を担当します。

傍聴者の声



一般質問を傍聴した藤村重美さんに感想を伺いました。



藤村 重美 さん
広田町在住 70才

●傍聴の感想は？

議員さんが、質問から再質問、さらに再々質問と迫っていくシーンは非常に好ましく、議員さんの真骨頂と感じました。

議場の電光掲示板に質問の残り時間が表示されますが、質問と答えを併せた全体の残り時間としてほしいです。それにより最後の残り0秒まで、しっかり追求する議員さんの姿を示せると思います。

●議会に望むことは？

介護事業を改善してほしいです。介護施設は市内に偏りがあり、遠く離れた地にも市民がいます。どこに住もうと市民が同等のサービスを受けられるべきです。

事業として、辺地での展開が難しいとすれば、議会と市は、事業者とともに知恵をしぼって、小さなステーションを設置することも考えられると思います。

全国的に過疎が進み、こうした事態を乗り越える先進事例を見つけて学び、検討してほしいです。

議員研修会

政策サイクルを学ぶ

広聴広報特別委員会は7月10日、市庁舎で「議会における委員会活動からの政策サイクル」をテーマに、議員研修会を行いました。

講師の東正大学・江藤俊昭教授は、市議会における政策サイクルの意義と課題について、全国の議会事例を基に講義を行いました。また、本市議会の議会だよりに対する提言もあり、本市議会基本条例の制定時から、何度も陸前高田に足を運んでいる先生ならではの視点で、委員会活動への評価、役割の再認識など、政策サイクルの必要性に言及しました。

今回の研修を通じて、市総合計画を意識した一般質問や議案審議の在り方、議会報告会などにおける取り組みを単に気づきで終わらせるのではないことを学びました。

また、市民と課題を共有し、政策へとつなげていくことと、今後の議会活動の方向性を再確認する機会となりました。



気仙地区議会議員協議会

総会開き要望決める

大船渡市、住田町、本市の議会議員で組織する気仙地区議会議員協議会の総会は8月18日、住田町役場で開催しました。

議案審議において、各市町と会長提出の対県要望など12件を決議。役員の改選では、会長に伊藤力也大船渡市議会議長を再任しました。本市議会からは、先般の定例会において国へ意見

よる情報共有サービスにより、旅行時の事故や急病対応において、より多くの命を救うことができる可能性を学びました。

同日は本総会に先立ち、LC誘致議連の総会も行われ、報告2件、議案3件を承認、役員改選では伊藤力也会長を再任しました。

書として提出した「消費者と稲作農家が共生できる施策の充実及び支援について」と「被災した文化財修復に係る財政支援の継続について」の2件が要望されることになりました。その後の研修会では、「マイナ保険証と未来かなえネットの連携」と題し、「(一社)未来かなえ機構」の菊池永菜氏が講演しました。その中で、電子カルテに



沿岸内陸を結ぶ

3市議会で交流

奥州市、大船渡市、本市の三市議会による議員研修会を8月19日、大船渡市魚市場において開催しました。

「魚市場の歴史と今後の展望について」と題し、大船渡市魚市場(株)専務取締役の佐藤光男氏が講演。市場の沿革や、東日本大震災からの復旧にかけた思いや、これまでの苦労などを話されました。また、現在の取り組みとして、最新の電子入札システムを導入し、タブレットにより市場内のどこからでも入札情報が入手でき、セリに参加できる日本初のICTを活用した内容には、目を見張るものがありました。

今後の展望として、「産地に生きる我々の使命は、いつの時代も品質・衛生管理に努め、市場関係者が連携し、新鮮・良質・安全な水産物を供給することである。」と、締めくくった最後の言葉は、議会に

おける政策活動にも、相通ずるものがあり、多くの学びを得ることができました。



議会と市民の交流コーナー

市議会では、広くご意見をうかがうため、市民のみなさまへクイズを出しています。第133号のクイズの答えとともに寄せられたご意見を紹介します。



参院選の投票が期日前投票所のアバッセでできてたいへん良かったです。日常の買い物ついでに投票した人が私の周りでも結構いました。タクシー券の利用はどうだったでしょうか。経費はかなりかかったと思います。改善の必要あり？
(高田町女性 80代)

「陸前高田の魅力語る」では地元で活躍する青年のお話に、高田市を思う気持ちが心に伝わってきました。本当に嬉しいです。陸前高田が魅力ある市になるよう、一市民として願っています。
(広田町女性 70代)



行政へ有権者の考えを反映、または修正していく機能を持つ議会での活動プロセスがよく分かり、興味深く拝読しました。
(市外男性 30代)

マイナカードに関して、役所以外に郵便局でも対応できる仕組みは、市民にとっても便利であると感じます。

高規格救急車更新の件は、高額品でも命にかかわることですから、市民も賛成するはず。素敵な考え方が多い議員さんに感謝です。震災からの復興、頑張ってください。応援しています。
(市外男性 40代)



◎議会だよりクイズ

○の中にはどんなひらがなが入るでしょうか？



令和7年第3回定例会では議員発議により

「陸前高田市〇〇〇基本条例」が制定されました。

応募方法

クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキ、FAX、メールのいずれかで応募してください。また市議会だよりを読んだ感想、市議会への意見・要望などを必ず記入してください。正解者の中から抽選で5人の方に粗品をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。) ※いただいた意見要望等は次回の市議会だよりに掲載することがあります。

あて先

〒029-2292 陸前高田市高田町字下和野100 陸前高田市議会事務局 宛
FAX 0192-53-1210 MAIL こちらのメール送信フォームをご利用ください。



しめきり

令和7年12月8日(当日消印有効)

議会だより第133号クイズの答え

answer

○の中にはどんな漢字が入るでしょうか？

答え 矢作・広田

表紙の写真



ひとり6粒のもみから育てたお米をみんなで収穫。気仙小学校の5・6年生は、地元の名人・菅野剛さんからお米作りを学んでいます。(10月14日 気仙小学校にて撮影)

クレセントシティ市訪問団と交流を深める



実習船かもめ返還に尽力したマッケンジーさん



本市と姉妹都市である米国加州北部デルノータ郡クレセントシティ市からの訪問団26人を迎え、9月11日、食彩工房海浜館にて本市議会議員との交流会を開催しました。会場では言葉の壁を越え、改めて両市の絆を確かめ合い、提供された日本食の説明や、余興の「仲町虎舞」披露のあと、

仲町虎舞も歓迎

地域の話題で盛り上がり仲良く歓談



参加者が虎舞と一緒に舞うなど、終始なごやかに幕を閉じました。



初めて見る気仙町仲町虎舞に興味津々

You Tube 配信のお知らせ

議会だよりとともに、YouTube をご覧になりませんか。一般質問など見比べも含め、皆さまのご意見をお待ちしております。
※市ホームページ→市議会→音声継 (YouTube 陸前高田市議会) をクリックすると陸前高田市議会のチャンネルに移動し視聴したい会議を選んでご覧いただけます。

●9月30日
◎陸前高田市A-オンデマンド交通導入実証運行について

●7月22日
◎令和7年度右手県に対する要望の実施について

●9月4日

◎マイナンバーカードを活用した救急業務(マイナ救急)の実証事業について

令和7年7月以降に市当局から提出された案件をお知らせします。

全員協議会

7月 July

- 1日 議会だより特別委員会
- 2日 議会だより特別委員会
- 6日 水防演習（議長ほか）
- 9日 議会だより特別委員会
- 10日 議会運営委員会 / 議会だより特別委員会 / 気仙地区議会議員協議会第2回役員会（正副議長） / 広聴広報特別委員会 / 議員研修会（政策サイクル）
- 11日 令和7年度道路関係縦軸2団体合同総会（議長）
- 13日 立教大学陸前高田サテライト開所式
- 14日 議会だより特別委員会
- 15日 令和7年度国道340号整備促進期成同盟会定期総会（議長）
- 16日 第63回知事を囲む懇談会（議長）
- 18日 高田松原海水浴場海開き式 / 広田海水浴場海開き式（議長他）
- 19日 チャオチャオ陸前高田道中おどり（議員有志）
- 22日 全員協議会 / 広聴広報特別委員会 / 議会だより特別委員会
- 25日 議会運営委員会 / 議会だより特別委員会

8月 August

- 5日 岩手・宮城県際市町議会議長会総会（正副議長）
- 7日～8日 名古屋市会来市
- 12日 岩手県沿岸都市議会連絡会議総会（正副議長）
- 18日 気仙地区議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟総会 / 気仙地区議会議員協議会総会
- 19日 議会だより特別委員会 / 全員協議会 / 陸前高田市議会・奥州市議会・大船渡市議会議員研修会
- 20日 教育民生常任委員会
- 27日～28日 第20回全国市議会議長会研究フォーラム（議長）
- 29日 会派代表者会 / 対県要望（正副議長）

9月 September

- 1日 議会運営委員会
- 4日 本会議 / 全員協議会 / 市政調査会理事会 / 各常任委員会
- 5日 決算等特別委員会 / 市政調査会
- 9日 本会議（一般質問）
- 10日 本会議（一般質問）
- 11日 本会議（一般質問） / クレセントシティ市訪問団交流会
- 12日 決算等特別委員会
- 17日 議会運営委員会 / 本会議 / 決算等特別委員会 / 広聴広報特別委員会
- 18日 決算等特別委員会 / 広聴広報特別委員会理事会
- 19日 決算等特別委員会
- 24日 全員協議会
- 25日 各常任委員会
- 26日 市民と語る小委員会 / 議会だより編集小委員会 / 教育民生常任委員会
- 29日 三陸沿岸道路東松島山田間機能強化連絡協議会総会（議長）
- 30日 本会議 / 全員協議会 / 市政調査会 / 広聴広報特別委員会 / 議会だより編集小委員会

議会だより編集小委員会

委員長 福田利喜
副委員長 大和田加代子
委員 佐々木良一
委員 伊勢野秀一
委員 同 義純



9月定例会において、常任委員会をはじめ議会の様々な構成が変わりました。

議会だよりの編集発行についても、これまでの議会だより特別委員会から、広聴広報特別委員会内の小委員会として新たな組織となりました。

今後は、市民の皆さんが議会をより身近に感じられるように、広聴機能と広報機能を結び、皆さんの声を政策に反映してまいります。

市議会だよりをこれまで以上に手に取ってもらうため、工夫してまいります。

（委員長 福田利喜）

あしがき

第22回

★市内の団体や個人を紹介します。

がんばってます!!

◆猫雑貨専門店 one scene.

店主 清水健太さん

清水健太さんは東京都出身の36歳。2014年に本市へ移住し、2019年にチャレンジショップでフォトスタジオを起業。この夏、同所を卒業し、広田町に保護猫活動の拠点となるお店をオープンしました。今回は、様々なネコ雑貨が並ぶ店内で話をうかがいました。



ネコとの関わりは12年前、捨て猫を保護したことがきっかけです。当初は保護活動を意識していませんでしたが、知人が見つけた捨て猫の里親募集をSNSに投稿したところ相談が増え、自然と今の活動につながりました。

移住当初はNPOに勤め、寄付の持続性について考える

機会がありました。寄付に頼らず活動続ける方法として、チャレンジショップで行っていた写真や動画の仕事と雑貨販売を組み合わせて保護猫の資金を作る仕組みを考えました。これが、今のお店のコンセプトにつながっています。

お店の名前は「ワンシーン」。保護猫が主演、里親が出演者、雑貨を買ってくれる人がスポンサーとして関わり、1匹のネコが里親に迎えられるまでを映画のワンシーンとして捉える意味を込めています。

市内では多頭飼育崩壊や高齢化でペットが取り残される課題もあります。現在は7匹の保護猫がいて、これ以上は増やせませんが、里親募集などの情報発信は積極的に行っていきたいと思っています。このお店がネコ好きの皆さんの交流の場になればと願っています。

議会へひとこと

安い家賃で新規事業を始められるチャレンジショップを活用できたことは良かったのですが、6年以内に卒業する必要があります。陸前高田は、貸店舗が少ないため新たに店舗を設けることになり、資金面の課題を感じました。入居者が資金調達のアドバイスを受けられる機会があると、より助かると思います。